自動車業界もシックハウス対策へ

The Knights

シックハウス症候群の原因といわれる揮発性有機化合物（VOC）を削減する動きが自動車業界などに広がっています。住宅メーカーの対策が先行していましたが、自動車メーカー各社が内装に含まれるVOCを減らした新型車を投入し始めました。印刷業界も含めて、大気汚染防止のために製造工程で排出を削減する動きも加速しています。

ホルムアルデヒドやトルエンなどのVOCは自動車の内装品に使う接着剤に含まれます。

日本自動車工業会(自工会)は 2007 年度以降の新車について、VOCを厚生労働省の指針値以下に抑制する内容の自主基準を決めています。

シックハウス症候群は住宅分野で問題視されましたが、自動車の内装品に含まれるVOCが同様の症状を引き起こす恐れが指摘されています。VOC対策工法はコストアップ要因ですが、各社は新車の競争力向上に向け業界自主基準の前倒し達成を急いでいます。

また、製品に含まれるVOCの削減に加え、製造工程での発生量抑制も課題となっており、来年 4 月施工の改正大気汚染防止法は工場が大気中に放出するVOCの濃度を始めて規制します。自動車の塗装ラインや印刷工場などが対象になってきます。

VOCの中でも排出量が多いトルエンやキシレンなどは、化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）で工場ごとに排出量などの届け出を義務付けており、企業のVOC排出抑制を促しています。環境省は一連の規制により 2000 年度に約 150 万トンだった国内工場･事業所の排出量を 10 年度に 3 割減らす計画です。

自動車業界ではVOC対策として新車の室内濃度低減と並行し、生産活動での排出削減に積極的に取り組む方針です。メーカー各社では塗装工程でVOCの少ない水溶性塗料の採用や車体への塗着効率の向上を通じて排出抑制に努めています。

また、印刷業界も同様に対応を迫られていますが、9 割以上を占めるとされる中小企業は多額の投資負担が重荷となり、対応が不十分なのが実情です。

当社では、VOC による大気汚染の現状を把握するお手伝いとして GC－FID を用いた分析法をご提案しております。

資料：2005 年 6 月 17 日付　日本経済新聞

環境対策箇所　永井絢子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

■事業内容■
1 環境管理に伴う調査･測定･化学分析
2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
3 ビル管理に伴う水質検査･空気環境測定
4 水道法第 20 条に基づく水質検査
5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
7 トータルサニテーション管理
8 委託試験･研究･開発